

令和6年度 下水道技術海外実証事業の評価項目および配点

		配点	評価の段階				
			A	A'	B	B'	C
実現性	工程計画	10	工程計画が極めて適切である(10点)	工程計画が妥当である(7点)	工程計画が概ね妥当である(5点)	工程計画の適切さにやや欠ける(3点)	実証事業が年度内に終了しない可能性があり、工程計画が不適切である(0点)
	実施体制	10	実証技術の普及展開に向け、実証試験等が実施できる体制が整えられており、且つ担当者が海外での豊富な実績を有している(10点)	実証技術の普及展開に向け、実証試験等が実施できるような体制が整えられており、且つ担当者が海外での実績を有している(7点)	実証試験等が実施できるような体制が整えられており、且つ担当者が海外での実績を有している(5点)	実証試験等が実施できるような体制が整えられており、且つ担当者が海外での実績が乏しい(3点)	実証試験等を実施するための体制が整っていない(0点)
	課題・ニーズの把握	20	現地の下水道に係る課題・ニーズの整理が優れている(20点)	現地の下水道に係る課題・ニーズが整理されている(15点)	現地の下水道に係る課題・ニーズが概ね整理されている(10点)	現地の下水道に係る課題・ニーズの整理がやや不十分である(5点)	現地の下水道に係る課題・ニーズの整理が不十分である(0点)
	小計	40					
有効性	技術の確認	15	実証試験の目標が明確であり、実証項目が適切に設定されている(15点)		実証試験の目標および実証項目が設定されている(8点)		実証試験の目標および実証項目の設定が不明確である(0点)
	モニタリング	15	経過観察による評価が適切に行われるよう、モニタリングの時期・回数・場所が適切に設けられている(15点)		経過観察による評価が適切に行われるよう、モニタリングの時期・回数・場所が最低限度、設けられている(8点)		実証試験のモニタリングが不十分であるため、経過観察による評価が不可能(0点)
	課題・ニーズとの適合性	20	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が極めて高い(20点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が高い(15点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズが適合している(10点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性がやや低い(5点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が低い(0点)
	小計	50					
普及可能性	ビジネス戦略	30	現地の課題に適合したビジネス戦略が極めて明確であり、現地での普及展開が大いに期待できる(30点)	現地の課題に適合したビジネス戦略が明確であり、現地での普及展開が期待できる(23点)	現地の課題に適合したビジネス戦略が概ね明確であり、現地での普及展開の可能性はある(15点)	現地の課題に適合したビジネス戦略がやや不明確であり、現地での普及展開の可能性がやや低い(8点)	現地の課題に適合したビジネス戦略がやや不明確であり、現地での普及展開の可能性が低い(0点)
	事業効果	20	実証事業を通じて同技術への理解が深まり、今後の普及に大いに期待できる(20点)		実証事業を行うことで、今後の普及に期待できる(10点)		今後の普及に対して本実証事業の効果が見込まれない(0点)
	自主活動	10	極めて現実的かつ効果的な自主活動になっている(10点)	現実的かつ効果的な自主活動になっている(7点)	概ね現実的かつ効果的な自主活動になっている(5点)	自主活動の現実性・効果がやや不明確(3点)	自主活動の現実性・効果が不明確(0点)
	小計	60					
合計		150					